

令和6年度教育目標

「ふるさとを愛し ともによりよい明日を創造する 児童の育成」

～チーム阿蘇小で育む、きらっと輝く阿蘇の子ども～

阿蘇の風 2

阿蘇小学校学校だより
No. 9
文責 後藤 昭
令和6年12月13日

11月18日(月) 放課後子ども教室

11月18日(月)放課後子ども教室において、役犬原にお住いの薄井さんがエンターテイメントショーを開いてくださいました。参加者は1・2年生。顔合わせの後、自己紹介もすでに大爆笑！子どものハートをゲットされました。盛り上がりすぎて薄井さんの話が聞けなくなることもありました。決して注意をされず、子供の興味を引き付ける工夫を繰り返される姿は、私たち教師が見習うべきところだと思いました。歌やペットボトル合奏など、子供を飽きさせない、あっという間の時間でした。こんな機会を通して、たくさん学べる阿蘇小の放課後子ども教室は素晴らしいなあと思いました。

エンジョイタイム！



11月19日(火) あおぞら456年生 阿蘇中校区仲良し交流会

あおぞら学級の4～6年生にとっては、楽しみでもあり、緊張することもある阿蘇中校区なかよし交流会でした。阿蘇中の生徒さんが中心となって、進行してくれました。阿蘇小は、ゲーム「猛獣狩りへ行こうよ」の役割がありました。参加者の前に立ち、やり方を説明しました。次第に声も大きくなり、参加者みんなにわかりやすい説明でした。ゲームもスムーズに進めることができました。何事も経験とはよく言いますが、6年生がリーダーとなって貴重な体験をすることができました。関係者の先生方にも深く感謝申し上げます。



11月19日(火)

保護者の皆様 給食試食会参加ありがとうございました。

コロナウイルス感染症対策により、なかなか多くの人数で実施できていなかった「給食試食会」です。20名以上の参加をいただき、多目的教室で実施することができました。和食のメニューで、「文楽めし 牛乳 いちよう葉汁 いわしのおかか煮 もやしの和え物」でした。保護者の皆さんの感想には、「惜しい給食でした」「思っていたより薄味でした」「家の味付けも考えていきたいです」など、書かれていました。学校では食べる野菜も、ご家庭ではな

令和6年度教育目標

「ふるさとを愛し ともによりよい明日を創造する 児童の育成」

～チーム阿蘇小で育む、きらっと輝く阿蘇の子ども～

かなか食べてくれないといった悩みも出されてきました。食べることに関しては、できる限り幼少期にいろいろな食材、いろいろな食感と出会わせておくことが大切と言われています。国では2005年食育基本法が制定されています。その中に次のようなことが記されています。「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である。今、改めて、食育を、生きる上での基本であって、



知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている。」

先日、3年生、4年生の見学旅行に一緒に行ったとき、弁当の中には、キャラクターをあしらったおにぎりなどありましたが、彩（いろどり）を考えて、少なくとも一つは「野菜」が入っていました。保護者のみなさま、いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

11月21日(木) 4年生 国宝 通潤橋・清和文楽
先人の素晴らしさを学びました。

4年生社会科の教科書には、熊本が誇る国宝「通潤橋」が掲載されています。布田保之助という惣庄屋（そうじょうや）（村長）が、特に荒地の白糸台地を灌漑した通潤橋を建設した話です。熊本県内のほとんどの4年生が現地見学を行います。当日は放水もありました。子どもたちは大いに喜んでいました。また、通潤橋の上を歩き白糸台地側にも行き、通潤橋の重要性も教えていただきました。その後は、円形分水という通潤橋につながる用水路のもととなる場所に行きました。ここでも通潤橋ガイドさんが来てくださり、丁寧に説明をしてくださいました。



今回もほかの学年と同じように「本物を見る、本物に触れる」機会を作れたことは、貴重な経験でした。

教科書の中だけでなく、日常生活にある「本物」と触れ合う・かかわりを持つことを今後も続けていけるように工夫していきたいと思います。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

